

動労千葉 国鉄分割・民営化阻止の第2波 ストライキから40年  
国鉄分割・民営化で不当解雇から39年

# 2・8国鉄集会

国鉄1047名解雇撤回！ 控訴審・東京高裁勝利判決へ  
労組なき社会化、労働基準法-労働基本権の解体を許すな！  
ベネズエラ侵略戦争弾劾！  
中国侵略戦争に突き進むトランプ・高市を倒そう！



JR大再編・廃線化、  
労働政策の歴史的転換  
攻撃と対決し、職場・  
地域から26春闘  
を闘おう！

## プログラム

- 基調報告「戦争情勢下の労働組合復権の闘い」 関 道利（動労千葉委員長）
- 動労千葉ストライキ40年（ビデオ上映ほか）
- 特別報告「東京高裁で解雇撤回判決を！」 中村 仁（動労千葉争議団）、弁護団
- ローカル線廃線化阻止に向けた訴え
- 戦争と労組なき社会化との対決、26春闘へ（動労千葉各支部／各産別から）
- 軍事クーデター5年 在日ビルマ人労働者から／国際連帯の訴え

国鉄分割・民営化阻止のストライキから40年、解雇から39年。動労千葉の不屈の闘魂を今こそ甦らせよう！ 東京高裁で証人採用を勝ち取り、国家的な不当労働行為の真実を暴く時だ。

戦争と大軍拡、労働運動・社会保障制度の解体に突き進む高市政権を打倒しよう！ 1・23東京高裁から2・8国鉄集会へ！ 団結の力で勝利の道を切り開こう。



日時 **2026年2月8日(日)**  
**午後2時～(開場1時15分)**  
場所 **江戸川区総合文化センター**  
**小ホール** 東京都江戸川区中央4-14-1

JR総武線 新小岩駅南口 徒歩約15分

\*新小岩駅南口前都営バス③④番のりば

[新小22] 葛西駅前ゆき、[新小21] 西葛西駅前ゆき

「江戸川高校前」下車 徒歩約4分

## 国鉄分割・民営化阻止ストライキ40周年、不当解雇から39年——

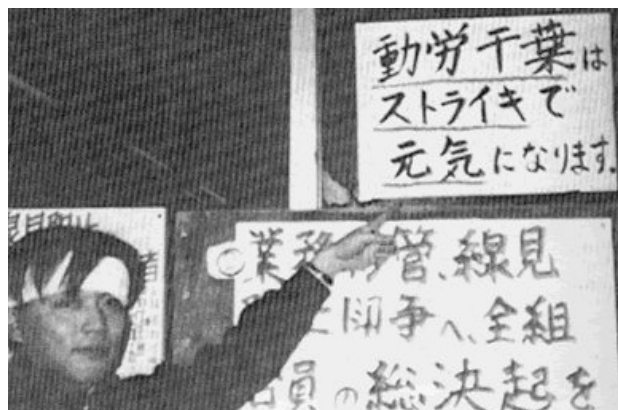
### ■40年前のストライキが示した労働組合の原則と労働者の未来

国家権力の総攻撃に抗して闘い抜いた動労千葉の国鉄分割・民営化阻止の第2波のストライキ（1986年2月15日）から40年。そして1987年2月16日、JR発足を前に強行された「不当解雇」から39年。私たちは今、日本の労働運動の歴史を画する重大な節目を迎えています。

当時、国家権力の総力を挙げた「国鉄分割・民営化」という戦後最大の労働運動解体攻撃に対し、全国で唯一、実力ストライキに決起したのが動労千葉でした。

「国家の全体重をかけた攻撃に抗って闘い抜けるのか」と真剣な討論が繰り返されました。「地面に頭をすりつけても3人に1人はクビにされる。ならば誇り高く闘おう」「団結さえ崩されなければ展望は必ず生まれる」——これが、労働千葉のたどりついた結論でした。こうして、職場を包囲する1万人の機動隊を前にしてもなお無限の戦闘性が発揮されるストライキがうち抜かれたのです。

それに対して加えられたのが組合員40人の解雇という大弾圧でした。しかし、労働千葉は団結を守り抜きました。それは「闘えば分裂する」という戦後日本労働運動で繰り返されてきた限界を突破する闘いでした。



### ■井手・深澤の証人採用で真実の扉をこじ開けよう

この不屈の闘いは、国鉄1047名解雇撤回闘争を生み出しました。そして今、この歴史的な国家的不当労働行為に決着をつけるべく、東京高裁を舞台に最大の山場を迎えています。すでに2015年の最高裁判決において、採用基準の策定そのものが「不当労働行為」であったことは確定しました。しかし、国（労働委員会）とJRはいまだに「JRには責任がない」という破綻した主張を繰り返しています。

この嘘を打ち破るために必要なのは、隠された真実を知る証人を法廷に引きずり出すことです。選別解雇基準を策定した核心人物である井手正敬・JR西日本元会長、そして現場で選別を直接実行した下手人の深澤祐二・JR東日本会長。この両名を証人として採用させ、国家的不当労働行為の全貌を明らかにさせ、真実の扉をこじ開ける闘いは、今まさに正念場を迎えています。

### ■今こそ労働運動を甦らせよう！

昨年、トランプ政権は「国家安全保障戦略」を発表し、「台湾を強奪するいかなる試みも阻止する」「政治的に正しいやり方をとるつもりはない」と表明し、それに先立って高市首相は「台湾有事は存立危機事態だ」として、一体となって中国侵略戦争に突進しています。

戦争情勢下で、労働政策を大転換させる攻撃が始まっています。国鉄分割・民営化から始まった新自由主義攻撃は、雇用・賃金、医療・介護、年金、公共交通、地域社会、郵便など、社会の全面的な崩壊に行き着きました。高市政権は「国力としての国防」を掲げ、大軍拡のためにさらなる犠牲を強いようとしています。戦争に行き着いた資本主義・帝国主義は労働者の力で倒さなければなりません。今こそ労働運動を甦らせよう！

40年前のストライキが証明したのは、労働者が正しい方針のもとに団結すれば、巨大な国家権力をも圧倒できるという希望でした。この「現場の力」を、いま再び甦らせる時です。1月23日の第2回裁判へ総決起し、その勢いを2月8日の国鉄集会へとつなげよう。1047名の解雇撤回、JR復帰、そして戦争阻止へ。団結して共に闘いましょう。